

事後評価概要資料

番号	2001	担当課名	道路街路課																																				
事業名	道路改築事業	事業主体	埼玉県																																				
路線・河川・地区名	一般県道所沢堀兼狭山線（堀兼）	事業箇所	所沢市、狭山市																																				
事業完了年	平成25年3月	事業完了後の経過年数	2年																																				
事業概要	目的	県南西部地域で発生している慢性的な交通渋滞の緩和と、圏央道狭山日高インターチェンジへのアクセス強化を図る。																																					
	必要性	南北方向の幹線道路が不足していたことから、所沢狭山線においては慢性的な交通渋滞が発生しており、圏央道狭山日高インターチェンジへのアクセスに支障をきたしていた。また、周辺市道へ通過交通が流入し、地域住民の生活にも支障をきたしており、当該事業区間の早期整備が必要となっていた。																																					
	効果	所沢市の国道463号から狭山市の国道16号までが全線4車線で繋がることにより、平行する所沢狭山線や周辺市道の渋滞が緩和され、交通円滑化による生活環境の向上や圏央道へのアクセス強化による地域の活性化など大きな効果が期待される。																																					
	事業内容	総事業費	13,012百万円	事業期間	平成4年度～平成24年度（21年間）																																		
		延長	2,670m		幅員	25.0m（両側歩道）																																	
		工種	道路改築（4車線バイパス整備）																																				
事業概要図																																							
事後評価項目	事業の効果の発現状況	<p>① 開通前後の交通量の変化 [台/12H]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開通前 (H25.2)</th> <th>開通後 (H26.2)</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周辺市道</td> <td>11,870</td> <td>9,554</td> <td>-2,316 (19.5%)</td> </tr> <tr> <td>所沢狭山線</td> <td>13,184</td> <td>11,168</td> <td>-2,016 (15.3%)</td> </tr> <tr> <td>新道</td> <td>-</td> <td>16,766</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 平均移動時間 (R16～R463) [分]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開通前 (H25.2)</th> <th>開通後 (H26.2)</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均移動時間</td> <td>34.9</td> <td>22.8</td> <td>-12.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 渋滞長 (入間川三丁目交差点) [m]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開通前 (H25.2)</th> <th>開通後 (H26.2)</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渋滞長</td> <td>500</td> <td>80</td> <td>-420</td> </tr> </tbody> </table>							開通前 (H25.2)	開通後 (H26.2)	差	周辺市道	11,870	9,554	-2,316 (19.5%)	所沢狭山線	13,184	11,168	-2,016 (15.3%)	新道	-	16,766	-		開通前 (H25.2)	開通後 (H26.2)	差	平均移動時間	34.9	22.8	-12.1		開通前 (H25.2)	開通後 (H26.2)	差	渋滞長	500	80	-420
		開通前 (H25.2)	開通後 (H26.2)	差																																			
	周辺市道	11,870	9,554	-2,316 (19.5%)																																			
所沢狭山線	13,184	11,168	-2,016 (15.3%)																																				
新道	-	16,766	-																																				
	開通前 (H25.2)	開通後 (H26.2)	差																																				
平均移動時間	34.9	22.8	-12.1																																				
	開通前 (H25.2)	開通後 (H26.2)	差																																				
渋滞長	500	80	-420																																				
効果分析の要因の変化	<p>再評価時（平成20年度）との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 13,980百万円 → 13,012百万円（968百万円減） ・供用年度 平成24年度 → 平成24年度 ・B/C 4.51 → 4.15（0.36減） 																																						
事業実施に副次的効果	<p>周辺市道交通量が削減され、事故件数が約3割減少、安全性が向上した。また、埼玉県西部消防組合からは、搬送時間の短縮や走行性が向上するなど、消防、救急救助活動に大きく貢献しているとの声をいただいた。</p>																																						
評価結果及び対応方針	<p>（評価結果） 道路整備により、周辺道路の渋滞が解消されるとともに、圏央道狭山日高インターチェンジへのアクセス性が大きく向上した。</p> <p>（対応方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果の発現が確認されたことから、今後改めて事後評価及び改善措置を実施する必要はない。 ・同種事業の計画調査のあり方や事業評価手法の見直しを実施する必要はない。 																																						
特記事項																																							